

第7回

早稲田

狂言の夕べ

2016年

4月19日(火)

17時30分開演

開場17時 終演予定19時

会場

早稲田大学大隈記念講堂

入場料

無料(全席指定 要申込)

対象

本学学生・教職員 招待校友

※未就学児入場不可



狂言

首引

親鬼

野村 萬斎

奈須与市語

野村 万作

休憩 十五分

仕舞(観世流)

天鼓

船弁慶

解説 野村 萬斎

西村 高夫

清水 寛二

地謡

青木 健一  
谷本 健吾  
柴田 稔  
安藤 貴康

鎮西八郎為朝

石田 幸雄  
高野 和憲  
深田 博治  
竹山 悠樹  
中村 修一  
岡村 聡史



狂言 首引

学生・教職員申込日程  
(MyWaseda)

[1次募集] 2月29日(月)~3月4日(金)  
[2次募集] 4月 1日(金)~4月5日(火)

※詳細は裏面に記載





「早稲田狂言の夕べ」は、本学校友で人間国宝および、昨年、文化功労者として顕彰されました野村万作氏、推薦校友の野村萬斎氏らによる狂言のイベントです。2010年4月より本学学生・教職員・招待校友を対象として開催し、毎年大好評をいただいております。今年はさらに、本学校友の能楽師・清水寛二氏、西村高夫氏の仕舞も加わった豪華な舞台となります。早稲田大学でしか観られない一味違った舞台を、重要文化財・大隈記念講堂にてお楽しみください。

## あらすじとみどころ

### 仕舞 天鼓(てんこ)

天から降った鼓を持つ少年・天鼓の霊が、手向けの舞楽に感謝し、供えられた鼓を自ら打って楽を奏し、喜びの舞を舞う場面を、紋付袴姿によるシテと地謡で演じます。

### 仕舞 船弁慶(ふなべんけい)

兄・頼朝に追われ、摂津・大物浦から船で西国に落ちようとする源義経一行の前に、西海で滅亡した平家一門の武将・平知盛の亡霊が現れ、義経一行を海に沈めようと襲いかかる場面を、紋付袴姿によるシテと地謡で演じます。

### 狂言 奈須与市語(なすのよいちのかたり)

源平による八島の合戦の時のこと。海上の平家方より、扇を立てた一艘の舟が漕ぎ出だす。源氏の大将義経は、後藤兵衛実基の献策により、弓の名手・奈須与市宗高を召し、扇の的を射ることを命じる。初めは固辞した与市だが、義経の厳命にやむなく従う。与市は馬を海中に乗り入れるが、波に揺れる小舟になかなか狙いが定まらない。そこで神明に祈りを捧げると、不思議と的一瞬静止する。すかさず放った矢は見事命中し、扇は夕暮れの波間にひらめき落ちる。源平両軍の賞賛の中、与市は大将義経の御感にあずかるのだった。

能「八島」の間狂言の特殊演出として演じられる語りで、奈須与市が扇の的を射た有名なエピソードを仕形話にしたもの。狂言の代表的な秘伝で、能とは別に単独でも演じられます。奈須与市・源義経・後藤兵衛実基などの人物を一人で演じ分ける華やかな仕形は、観る者を引き込まずにはいられません。

### 狂言 首引(くびひき)

播磨の印南野を通りかかった鎮西八郎為朝の前に鬼が現れる。娘の姫鬼に人の食い初めをさせたいという鬼に、為朝は、姫と勝負して負けたら食われよう、と提案する。親鬼は恥ずかしがる姫を説得して腕押し・すね押しをさせるが、豪傑無双の為朝にはかなわない。苦戦する我が子に気が気でない親鬼は、ある策を思いつき…。

豪胆な英雄・為朝に対し、可憐な姫鬼を華麗かつ懸命に応援する親鬼。人間以上に子煩悩な鬼の姿に、思わず顔がほころびます。鬼対人の戦い。さて、この勝負の行方は？



### 野村 万作

のむら まんざく

1931年東京生まれ。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学第一文学部卒業。「万作の会」主宰。国内外で狂言普及に貢献、ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。芸術祭大賞、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、長谷川伸賞等受賞歴多数。02年早稲田大学芸術功労者、08年練馬区名誉区民、12年旭日小綬章。『月に憑かれたピエロ』『子午線の祀り』等、狂言師として新たな試みにも取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。練馬文化センター名誉館長。15年文化功労者顕彰を受ける。



### 野村 萬斎

のむら まんざい

1966年東京生まれ。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。早稲田大学推薦校友。「狂言ござる乃座」主宰。国内外の狂言・能公演はもとより、現代劇・映画・テレビなどで幅広く活躍。12年には主演映画『のぼうの城』が大ヒットした。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、紀伊國屋演劇賞等の他、12年度芸術祭優秀賞受賞。重要無形文化財総合指定保持者。世田谷パブリックシアター芸術監督。



### 清水 寛二

しみず かんじ

シテ方観世流能楽師。1953年奈良県生まれ。早稲田大学教育学部卒業。在学中、早稲田大学観世会にて山本順之の指導を受け、鏡仙会に入門。故観世寿夫、故八世観世鍔之丞、九世観世鍔之丞に師事。鏡仙会での演能のほか、復曲や『長崎の聖母』『沖縄残月記』等の新作能、また他ジャンルとの創造活動等にも多数参加、意欲的な活動を続ける。重要無形文化財総合指定保持者。昨年まで早稲田大学観世会で学生の指導を行う。



### 西村 高夫

にしむら たかお

シテ方観世流能楽師。1952年新潟県生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。在学中、早稲田大学観世会にて山本順之の指導を受け、鏡仙会に入門。故観世寿夫、故八世観世鍔之丞、九世観世鍔之丞に師事。清水寛二と「響の会」を結成。2006年、出身の新潟県小千谷市にて「震災復興祈念 小千谷能」を企画、上演。復曲や新作能への出演、世阿弥座などの海外公演にも積極的に参加している。重要無形文化財総合指定保持者。

## 申込方法

対象：本学学生・教職員(関係職員含む)

MyWaseda 申請フォーム(ホーム・申請フォーム・アンケート・申請フォーム入力「早稲田 狂言の夕べ」観覧申込)より受付。応募者多数の場合は抽選。

### 1次募集

2月29日(月) 9:00～3月4日(金) 17:00  
3月10日(木) 当選結果通知(Waseda-netメール)

### 2次募集

4月1日(金) 9:00～4月5日(火) 17:00  
4月8日(金) 当選結果通知(Waseda-netメール)  
※2016年4月入学の新入生優先

- ・チケットは当選者ご本人のみ有効です(同伴不可)。
- ・1階は招待席のため、公募席は原則として2階です。お席は当日割り振らせていただきます。
- ・本学の在籍が3月で終了する方は、1次募集のみお申込みいただけます。なお、校友(卒業生)の方は申込方法が異なります。「早稲田学報」2016年4月号掲載の案内をご覧ください。

## お問い合わせ

メール：kyogen-toiawase@list.waseda.jp

文化推進部文化企画課 TEL:03-5272-4783 (月～金 9:00～17:00)

総長室校友課 TEL:03-3202-8040 (月～金 9:00～17:00)

(スタッフ)

照明／(株)齊藤舞台照明 齊藤 正雄

制作協力／万作の会

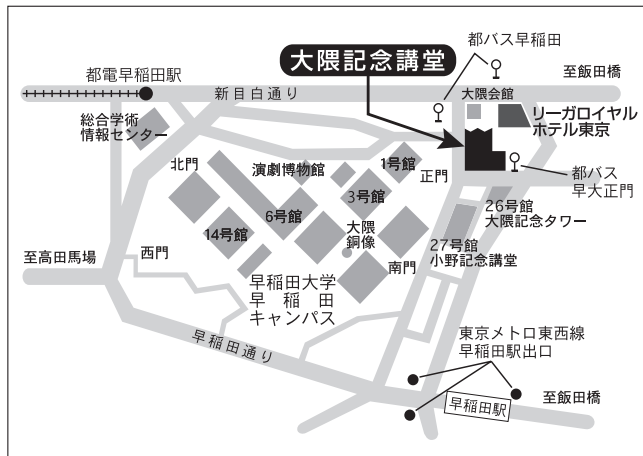
舞台監督／小坂部 恵次

制作／早稲田大学文化推進部

舞台／金井大道具株式会社 古賀 学

文化企画課

※「早稲田文化」ホームページよりイベントメールニュース登録受付中。 <http://www.waseda.jp/culture/>



## 交通アクセス

JR山手線／西武新宿線(高田馬場駅 徒歩20分)

地下鉄東京メトロ(東西線 早稲田駅 徒歩5分)(副都心線 西早稲田駅 徒歩17分)

学バス(高田馬場駅→早大正門 徒歩1分)

都バス(新宿駅西口→早稲田)(渋谷駅→早大正門)(上野広小路→早稲田) 徒歩3分

都電(三ノ輪橋駅→早稲田駅 徒歩5分)

・学内に駐車場はありません。